



平成 25 年 12 月 18 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ー グ ラ ン ド

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 江 口 久

(コード番号:3294 東証 J A S D A Q)

問 い 合 わ せ 先 取 締 役 管 理 部 長 白 惣 考 史

(Tel. 03-3219-5050)

### 東京証券取引所 J A S D A Q への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 25 年 12 月 18 日に東京証券取引所 J A S D A Q に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期業績予想は以下のとおりであり、また最近の決算情報等につきましては別紙のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円・%)

項目	決算期	平成 26 年 3 月期 (予想)			平成 26 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 (実績)		平成 25 年 3 月期 (実績)	
			構成比	対前期増減率		構成比		構成比
売 上 高		11,829	100.0	27.8	6,110	100.0	9,255	100.0
営 業 利 益		977	8.3	97.0	695	11.4	496	5.4
経 常 利 益		754	6.4	137.6	599	9.8	317	3.4
当期(四半期)純利益		443	3.7	26.4	333	5.5	350	3.8
1 株 当 たり 当 期 ( 四 半 期 ) 純 利 益		343 円 37 銭			273 円 18 銭		287 円 61 銭	
1 株 当 たり 配 当 金		30 円 00 銭			—		30 円 00 銭	

- (注) 1. 当社は子会社を有していないため、連結財務諸表は作成していません。  
2. 平成 25 年 3 月期(実績)及び平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。また、平成 26 年 3 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数(250,000 株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当分(最大 52,500 株)は考慮していません。  
3. 平成 25 年 9 月 11 日付で 1 株につき 1,000 株の株式分割を行っております。そこで、当該株式分割に伴う影響を加味し、平成 25 年 3 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年12月18日

上場会社名 株式会社イーグランド 上場取引所 東  
 コード番号 3294 URL http://www.e-grand.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 白惣 考史 TEL 03 (3219) 5050  
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,110	-	695	-	599	-	333	-
25年3月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	273.18	-
25年3月期第2四半期	-	-

- (注) 1. 当社は、第2四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成25年3月期第2四半期の実績及び増減率については記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は平成26年3月期第2四半期においては非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。  
 3. 当社は、平成25年9月11日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,014	2,703	30.0
25年3月期	8,033	2,407	30.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,703百万円 25年3月期 2,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	30,000.00	30,000.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年9月11日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。平成25年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,829	27.8	977	97.0	754	137.6	443	26.4	343.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	1,220,000株	25年3月期	1,220,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	一株	25年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	1,220,000株	25年3月期2Q	1,220,000株

(注) 当社は、平成25年9月11日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、長引くデフレ状況からの脱却に向けた金融緩和と景気回復のための各種政策等への期待感から、株式市場は上昇し、為替相場も円高是正に向かうなど、景気の回復傾向が見え始めております。

当社が属する不動産業界とりわけ中古住宅流通市場におきましては、首都圏中古マンションの成約件数が昨年9月以降13ヶ月連続で前年同月を上回り、また、成約価格につきましても1月以降9ヶ月連続で前年同月を上回って推移しております。

このような市場環境の中、当社は主たる事業である中古住宅再生事業におきましては、第1四半期から引き続き、仕入れた物件へのリフォーム施工や家具付き販売の実施等によって付加価値を向上させ、他社物件との差別化を図ってまいりました。その結果、物件販売件数は前年同四半期累計期間の230件から322件となり、売上総利益率も第24期事業年度の15.6%から20.2%に向上いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は6,110,958千円、営業利益は695,768千円、経常利益は599,850千円、四半期純利益は333,274千円となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

#### <中古住宅再生事業>

当社の主たる事業である中古住宅再生事業におきましては、物件の仕入について、引き続き任売による仕入が順調に伸びて仕入件数は前年同四半期累計期間の264件から335件となり、その内訳は競売による仕入が209件、任売による仕入が126件となりました。

また、販売につきましては、個別物件の状況に合わせた家具付き販売等の施策が奏功し、物件販売件数は322件となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における中古住宅再生事業の売上高は6,047,597千円となりました。

#### <その他不動産事業>

その他不動産事業におきましては、賃貸用不動産を平成25年3月に取得したことにより、賃料収入が増加した結果、当第2四半期累計期間におけるその他不動産事業の売上高は63,361千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における流動資産は、7,683,468千円となり、前事業年度末の6,701,393千円から982,075千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が208,213千円、販売用不動産が565,452千円増加した一方で、仕掛販売用不動産が284,999千円減少したことによります。

当第2四半期会計期間末における固定資産は、1,330,556千円となり、前事業年度末の1,332,355千円から1,798千円の減少となりました。これは主に、無形固定資産が3,308千円増加した一方で、有形固定資産が4,795千円減少したことによります。

当第2四半期会計期間末における流動負債は、5,120,062千円となり、前事業年度末の4,422,383千円から697,678千円の増加となりました。これは主に、買掛金が63,165千円、短期借入金が623,987千円、未払法人税等が65,918千円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が44,794千円減少したことによります。

当第2四半期会計期間末における固定負債は、1,190,268千円となり、前事業年度末の1,204,345千円から14,076千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が8,922千円増加した一方で、社債が23,900千円、減少したことによります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、2,703,694千円となり、前事業年度末の2,407,019千円から296,674千円の増加となりました。これは、利益剰余金が296,674千円増加したことによります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度に比べて90,156千円増加して、1,400,028千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間の営業活動の結果使用した資金は300,796千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が599,850千円であった一方で、競売保証金が495,460千円増加、物件仕入の増加によりたな卸資産が280,536千円増加し、利息の支払により84,672千円、法人税等の支払により206,289千円を支出したことによります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間の投資活動の結果使用した資金は134,502千円となりました。これは主に、定期預金の預入により253,669千円、有形固定資産の取得により10,884千円を支出した一方で、定期預金の払戻により135,612千円を得たことによります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間の財務活動の結果獲得した資金は525,455千円となりました。これは主に、新規の短期借入8,829,617千円、新規の長期借入126,000千円を実行した一方で、短期借入金8,205,629千円、長期借入金161,872千円を返済したことによります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度（平成26年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高11,829百万円（前年同期比27.8%増加）、営業利益977百万円（前年同期比97.0%増）経常利益754百万円（前年同期比137.6%増）、当期純利益443百万円（前年同期比26.4%増）を見込んでおります。今後業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかに開示致します。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,707,580	1,915,794
売掛金	110	9,464
販売用不動産	3,019,990	3,585,442
仕掛販売用不動産	1,672,860	1,387,860
貯蔵品	572	656
その他	300,303	784,422
貸倒引当金	△23	△171
流動資産合計	6,701,393	7,683,468
固定資産		
有形固定資産	1,203,568	1,198,772
無形固定資産	19,975	23,284
投資その他の資産		
その他	109,238	108,827
貸倒引当金	△426	△327
投資その他の資産合計	108,811	108,499
固定資産合計	1,332,355	1,330,556
資産合計	8,033,749	9,014,025
負債の部		
流動負債		
買掛金	162,634	225,799
1年内償還予定の社債	47,800	47,800
短期借入金	3,556,648	4,180,635
1年内返済予定の長期借入金	260,496	215,702
未払法人税等	210,085	276,003
賞与引当金	—	28,500
完成工事補償引当金	5,142	6,269
その他	179,576	139,351
流動負債合計	4,422,383	5,120,062
固定負債		
社債	491,400	467,500
長期借入金	568,415	577,337
役員退職慰労引当金	62,631	64,934
その他	81,898	80,496
固定負債合計	1,204,345	1,190,268
負債合計	5,626,729	6,310,330

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	342,700	342,700
資本剰余金	317,700	317,700
利益剰余金	1,746,619	2,043,294
株主資本合計	2,407,019	2,703,694
純資産合計	2,407,019	2,703,694
負債純資産合計	8,033,749	9,014,025



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,110,958
売上原価	4,878,152
売上総利益	1,232,805
販売費及び一般管理費	537,037
営業利益	695,768
営業外収益	
受取利息	154
受取配当金	1,604
契約収入	5,478
その他	749
営業外収益合計	7,985
営業外費用	
支払利息	79,547
支払手数料	20,918
その他	3,438
営業外費用合計	103,903
経常利益	599,850
税引前四半期純利益	599,850
法人税、住民税及び事業税	271,475
法人税等調整額	△4,900
法人税等合計	266,575
四半期純利益	333,274

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	599,850
減価償却費	18,090
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	48
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	1,126
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,302
受取利息及び受取配当金	△1,758
支払利息	79,547
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△280,536
競売保証金の増減額 (△は増加)	△495,460
仕入債務の増減額 (△は減少)	63,165
その他	△26,468
小計	△11,592
利息及び配当金の受取額	1,758
利息の支払額	△84,672
法人税等の支払額	△206,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	△300,796
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△253,669
定期預金の払戻による収入	135,612
有形固定資産の取得による支出	△10,884
無形固定資産の取得による支出	△5,526
その他	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,502
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	8,829,617
短期借入金の返済による支出	△8,205,629
長期借入れによる収入	126,000
長期借入金の返済による支出	△161,872
リース債務の返済による支出	△2,159
社債の償還による支出	△23,900
配当金の支払額	△36,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	525,455
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	90,156
現金及び現金同等物の期首残高	1,309,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,400,028

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。